

# ひろば大代

NO.366

大代まちづくり  
センター

H22.1.8



本年もよろしく

お願い致します。

平成22年元旦

新春に寄せて

まちづくりセンター長 竹島 修

新年明けましておめでとうござい  
ます。皆様には、お健やかに新春をお迎  
えの事とお慶び申し上げます。

昨年4月より公民館が町づくりセン  
ターと名前を改め、新たな体制のもと  
スタート致しました。

職員も仕事の内容は変わらないもの  
の、所管が変わり事務等の処理が変わ  
り戸惑った所もありましたが、ほぼ問  
題なく対応できたと思っております。  
これも支援センターからの御指導と運  
営委員をはじめとする町民の皆さんの

ご協力があったからだ感謝しており  
ます。有難うございました。

町づくりセンターは、公民館の時と  
同じく地域の皆さんへの情報発信の場  
として、また生涯教育の中核施設とし  
て皆さんに今まで通り御利用・御活用  
頂く為に地域に根づいた活動を行い、  
地域の皆さんにきていただけるようス  
タッフ一丸となって頑張りたいと思っ  
ております。

皆さんまちセンへ来て下さい、話を  
聞かせてください。それから町づくり  
が始まります。よろしくお願い致します。  
末筆になりましたが、皆様のご多幸  
とご健康を祈念致しまして新年の御挨拶  
とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します。

新年に寄せて

連合自治会長 武田廣司



新年明けましておめでとうございま  
す。皆様には健やかに新春をお迎えの  
事とお慶びを申し上げます。

一昨年の暮れ「100年に一度の金  
融危機」世界同時不況に陥ってから、

今だにこの余波は留まるどころか大波  
乱の兆しを呈しております。

働き盛りの人が突然、職を失う勤め  
先の倒産、リストラ、派遣ぎり、どの  
言葉も聴いても気が重くなります。特  
に若者はスタートラインで躓くとなか  
な将来に明るい展望が開けない、い  
やな世の中に成ったものだと思います。  
このような世相を背景に先日新聞の片  
隅に今一番住み易い都道府県は・・・  
と言うアンケートの結果が掲載されて  
いました。そこには意外にも島根県は  
上位ベスト3にランクされていました。  
その大きな理由は衣食住、特に持ち家  
比率が全国で一番高い事、食は自給率  
が高いなどでした。医療、交通の利便  
性など生活の質には疑問点はあります  
けれど、人間が生きていく基本的な部  
分では大都市より安定感は群を抜いて  
居るようです。この記事を読みながら  
現状に目を向けると輸入依存、資源、  
エネルギーの大半を輸入に頼り、しか  
も大量に消費する社会構造・・・何一  
つとつてもうなげけそうな気がしま  
す。過疎化に歯止めが掛からない我が  
ふるさと、外に目を向けるだけでなく、地

の利を活かした豊かで安定した生活基盤は築けないか模索の年になればと思います。

## 初春の

### お慶びを申し上げます。



高山会会長 木村幸司  
明けましておめでとうございます。

どちら様も、お健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

平素は、高山会の事業に、格別なるご理解とご協力を賜っておりますこと、衷心よりお礼申し上げます。

ふるさとを離れ、遠方にて活躍されております同郷の皆様との交流を目的に、発会された同会でございますが、現在は、ふるさと活性化を目標とする会へと転じてまいりました。少子高齢化の進む当地でございますが、ふるさと大代町が、元気で活力ある町である為に、引き続き、活発な事業展開を繰り広げていければと願っております。皆様方には、益々のお力添えをお願い申し上げます。

昨年、4人の大代の生徒が所属する、7人の三中吹奏楽部が示してくれた四

つのCh、「あきらめる事無く、挑戦(Challenge)すれば、必ず好機(Chance)が訪れる。確認(Check)を怠る事無く、努力すれば必ず変わる(Change)事が出来る。」  
子供達に負けないように、私達も頑張りたいと思います。

## 年頭の挨拶



東京石見高山会会長 今田 潔  
大代町の皆様、新年明けましておめでとう御座います。ご家族揃ってお元気に新年をお迎えになった事とお慶び申し上げます。

昨年は11月に開催致しました東京石見高山会創立25周年の総会に大代から大勢の方々を駆けつけて頂き、本場そば道場の味を堪能させていただきました。懐かしい大代のお話を伺ったりと総会を大いに盛り上げて頂き本当に有難うございました。心から御礼申し上げます。

東京石見高山会が1/4世紀＝25年継続出来たのは、何時も申し上げている通り会員各位の故郷への熱いそして強い思いがあればこそであり、また

同時に故郷大代の皆様や関西高山会の皆様との強い絆で結ばれた交流から生まれたご協力・ご支援の賜物と、全高山会(東京石見高山会、大代高山会、関西高山会)会員各位に深く感謝し厚く御礼申し上げます。

さて昨年の衆議院選挙ではご存じの通り自民党が地滑りの敗退をして、約半世紀続いた自民党政権が崩壊し民主党の新政権誕生となりました。「不満」の政権から「不安」の政権に交代したと言われるように、新政権の内政、外交共にまだまだ方向が定まったとはいえない状況ですが、選挙で選んだ以上、新政権がより良い政策実行をするよう激励・監視し、我々一人ひとりが次の選挙にあたっての評価・判断をしつかりする必要があると思います。

今年は引き続き厳しい経済環境が続きますが、国民各自が依存心を捨て自立の道を目指すことこそ不況脱出の基本と考えています。

厳しい時こそ“笑顔” 笑顔こそ人間最大の武器、笑いは人の免疫力を高めガンをも退ける力があることが医学的に証明されています。此の一年明

るい笑顔で健康に過ごしましょう！

新しい年が皆様にとって幸せな一年となりませう心から祈念して年頭のご挨拶とさせて頂きます。

## 新年に寄せて

(年金定期便で記録もれを見つけよう)



関西高山会会長 木村滋男

大代町の皆様、あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

今年は一マンショック以来の世界的な経済収縮、政権交代による経済政策の変更、雇用不安、デフレ、子ども手当、中小企業金融円滑法、年金減額見込み等大変革の年になりそうです。数年前と現在では、日本だけでなく世界経済においても大きく様変わりしています。私達もこれまでのもの考え方、経営のやり方を変えて新しい時代に前向きに取り組む必要があります。です。

昨年も私にとっては、「宙に浮いた五千万件の記録」の解明に明け暮れた

一年でした。皆様もご存知のように平成19年10月から始まった年金特別便の発送は20年10月に終わりました。

しかし20年12月末現在で約3割の方が未回答のようです。いかに私達は年金に関して無関心であるか痛感しています。私が相談に応じた82歳の方は昔勤めた厚生年金の約6年間の記録が見つかり、60歳にさかのぼって約1千万円の一時金を受給された方もおられます。

又年金の基礎年金番号が登録されていない方、受給資格に満たない方もあり、もう少し早く気付いていればと悔やまれてなりません。21年4月からの定期便はオレンジ色の封筒か空色の封筒で送られてきます。オレンジ色の封筒で送られてきた場合はどこか記録もれがあると思われる。必ず記録をチェックし回答票を出しましょう。

社会保険事務所に行き確認してもらうのが一番よいのですが行けない場合は、必ず社会保険事務所に電話で確認しましょう。なお現在年金を受給している方の定期便は昨年の12月から一年かけて全員に歳の多い方から順番に

送られてきます。年金受給者への定期便は以後送られてきません。定期便が送られてきたら必ずチェックし回答票を出しましょう。私も今年一年あらゆる機会を通じてこの年金問題を少しでも皆様に理解してもらえよう取り組みたいと思っています。

さて昨年12月の「ひろば大代」で難波利三文芸賞を小5年の井谷美紅さんの「盆踊りがずっと続くといいな」と上飯谷の武田穰さんの「あめ色の風景」が入選された事を知りました。ほんとうにおめでとうございます。ふるさとを思い出し嬉しく拝見いたしました。今年の大代高山会25周年記念総会には大代の盆踊りを皆様と踊れるのを楽しみにしています。

なお、第19回関西高山会総会は6月13日(日)に「大阪弥生会館」で開催を予定しています。今年も楽しく皆が参加できる“オンリーワン”の関西高山会の総会になるよう幹事一同一生懸命企画しますので、知人、友人に声をかけていただき大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

最後になりましたが、今年が皆様に

とって健康で明るく楽しい年でありませうよう祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年に思う

大代小学校 校長 松下明



新年あけまして おめでとうございませう。大代町の皆様には、小学校の教育活動に對しまして様々な面でご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この平成二十二年という年に迎えることができました。これも皆様のお陰と感謝しております。

さて、昨年は、久しぶりに三名もの一年生の入学があり、上学年と下学年の人数のバランスもよく、様々な活動の中で、上級生が下級生を優しくリードする光景がたくさん見られた一年でもありました。

大代小学校では「二十一世紀を生き抜く、豊かな心と活力のある子どもの育成」といった学校目標を掲げ、子どもたちにこのような力をつけていくために、日々の様々な教育活動に取り組

んでいきます。

特に昨年の子どもの活躍は素晴らしいものがたくさんありました。市連合運動会の混成リレーでは大代小の先輩の打ち立てた大会記録を自ら塗りかえての優勝。難波利三文芸賞での特選。その他、市科学作品展、県読書感想文コンクール、絵画、音楽の分野でも大活躍でした。

これらの活躍の素地には、大代の子どもたちの素直な感性とひたむきな姿勢があるからではないでしょうか。大代という地域・家庭がそれを長年育んできた賜だと思っております。

今後も、地域・家庭・学校の連携をさらに深め、豊かな心と活力のある大代の子どもたちの育成に教職員一同さらに努力してまいりたいと思っております。これからも、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 希望をもつる新年に

寿会会長 日向 良



昨年の衆議院選挙で勝利した民主党はいわゆる「マニフェスト」を掲げて

意気込んでみたものの、その内容たるや非常にきびしく各方面に於いても予算削減も止む得ない状態であると報じられている。例えばダム建設を中止するとか、又沖繩の米海兵隊基地移転問題、これは我が国と米国との信頼関係が少々ぎくしゃくしたかに思われる。

昨年末の新聞の報道によれば老人ホームの経営難により閉鎖され住んでいた老人が追い出され路頭に迷うと言う記事が報じられていた。その他色々あるが何れにしてもバラまき公約の甘さを如実に物語っているのである。

又近くでは浜田の県立大生殺害事件も一向に犯人に結びつくような話もなく吾々の回りには暗い話ばかりである。なにはともあれ本年は少々明るい話題があつて欲しいものである。

本年も寿会をよろしく願ひします。

## 新年を迎えて

婦人会会長 今田文字



明けましておめでとうございませう。皆様 お健やかに新年をお迎えの事

とお慶び申しあげます。

昨年も婦人会活動にご支援頂きました事を深く感謝いたします。

婦人会活動は、年間計画に基づき、産業部は健康茶作り、生活部は梅干作り、文化部は「婦人会だより」の発行、厚生部は福祉弁当の引き渡しや健康面のサポートなど、又支部毎には福祉弁当作り・大家郵便局への作品展示・まちづくりセンターの清掃など積極的にしていただきました。

町の行事では、都市交流会・敬老会・町民運動会・文化祭への協力等です。文化祭で毎年行う農産物の品評会には、自慢の立派な野菜が並んでいて驚きました。と同時にとても嬉しく思いました。小学校への野菜作りの指導、読み聞かせボランティアは自分たちの勉強になっていく事が数多くあります。この地域に根づいた活動が継続されている事は、先輩会員さんの指導があったからだと思います。

これらの活動は会員も、その家族の方の協力も大きいと感謝いたします。本年も地域の方々、家族の方のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

## 火災、災害の

### 無い町を目指して

大田市消防大代分団長 坂本静雄

厳寒の候、皆様方には益々御清栄のこと、家族揃っての新しい新年を迎えられたことお慶び申し上げます。平素は消防団業務に格別のご配慮を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は島根県操法大会が大田市で開催され、大代分団も大田市代表として出場致しました。団員一丸となって、頑張った結果は24チーム中13位と言う事で有りましたがこの様な大会を通して団員の操法技術向上につながったと確信しております。

さて新しい年が始まり、我々消防団も日夜、地域が安全で安心して生活が出来る様、災害のない町を目指して活動をしてまいります。

又大代町では新たに自主防災組織が立ち上がり、皆様方の活動を多いに期待する所であり、安心・安全な町が出来上がったと喜んでいきます。そして何よりもこわい火災であります、火災の早期発見、早期の避難に役立つ、住



宅火災警報器の設備が義務化されて既存住宅は平成23年5月31日までに設置するようになっていきます。大代町も約70%の設置状況です。まだ取り付けていないご家庭は早く設置されます様お願い致します。

まだまだ寒さが続きます。火の用心よろしくお願致します。今年も皆様方が、元気で良き年でありませう様お祈り致し、新年の挨拶と致します。

## 好評です大代モチギ餅

高山の里直売所運営組合

代表 横手新治郎



明けましておめでとうございます。輝かしい新年を元気で迎えることができました事を共に喜びたいと存じます。

オバマ米大統領は「チェンジ！チャンス！」と世界中に呼びかけ、大変な人気を得ています。昨年日本では政権がチェンジし、環境問題、食料自給率の向上などの農村に期待する声が多くなり、チャンスが到来かと感じられる出来事が多くなった年でした。新しい年は、世界中が不況からの脱出への兆



しをつかむことが出来るか、問われる年となりそうです。農村地域もチャンス到来と元気を出したいものです。

さて、直売所“よっちゃん菜”も丸5年半営業を続け、それなりの成果を挙げ、多少なりとも大代町の元気づくりに貢献できているように感じているところ です。

簡単に5年間を振り返ってみますと、店舗での売上高は、初年度は6ヶ月で398千円、17年度は年間757千円となりましたが、その後大きな伸びはなく、20年度は674千円にとどまりました。

イベントも定期的に年4回開催し、定着化しつつあり、店舗への来客誘導が図られ、店舗販売に大きく貢献しております。

ふるさと小包は、平成17年度からはじめ、初回の申込み金額は71千円でしたが、20年度は649千円と大幅な増加となりました。商品の数も6種類から13種類に拡大し、中でもよもぎ餅は330パック（約もち米5斗とよもぎ13K必要）の注文をいただくまでになり、よもぎの香りと味の良さは、

都会では味わえない絶品と大変喜ばれています。

ポン菓子加工の希望も多くなり、年末には36Kの原料を37回大きな音でポン菓子にしました。米や黒豆などが好評です。

過去5年間手探りの中で運営をし、一定の利益を確保しましたが、店舗販売に出品される方は減少傾向にあり、品物の種類、数量とも増加していない状況です。当町には野菜生産農家、ハウスなど施設で生産される農家が少ないのが原因と思われます。

このように運営が出来ていきますのも、町民の皆さんがイベントや地産地消活動に理解をされ、ご協力いただいている事と、十割そばの人氣が続き、町外の方がたくさん来町されている事があるからと思います。

今後この事業を継続させるためには、組織、運営体制などに工夫が求められます。今年度は試練の年と考えて取り組むことが必要となつてまいりましたので、より一層の叱咤激励を賜ります様お願い申し上げます。ご挨拶いたします。

※1月10日は「110番の日」です。

「いち早く、いちがみ荒しめ、れい静じ」

《悩むよりかけて安心 #9110》

大代駐在所

## 2月行事予定

- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- ▼10日（水）出張申告相談
- 受付午前8時30分～午後1時まで
- ▼14日（日）福祉弁当
- ▼18日（木）地デジ説明会午後2時～
- ▼23日（火）連合自治会

## お知らせ

### ○大代地区社協より



下市 藤島正夫様から

本郷 増田マサヨ様から

香典返しにかえそれぞれ金一封のご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。

## 編集後記

雪のお正月を迎えました。本年も皆様からのより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。